

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	復活！生坂産「ころ柿」事業
事業主体 (連絡先)	生坂村 (0263-69-3111)
事業区分	⑥オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	581,200 円 (うち支援金: 453,000 円)

事業内容

犀川の川霧により先人たちが「ころ柿」として作り販売してきた干し柿を、授産施設の独自作業として取り組んでいくための施設・資材の整備を行った。

①作業用衣服、変圧器

衛生管理を徹底すべく作業着・帽子を購入し、機器の安定運転のための変圧器を導入して品質向上を図る。

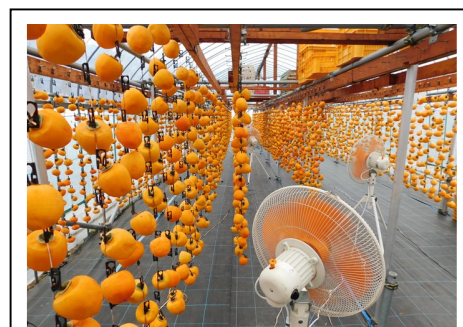
②作業用コンテナ、肥料、動力噴霧器

計画的に育成から収穫までを行い、安定した製品の生産につながるよう機材、資材を購入

③干し柿講習会

品質の良い干し柿づくりを目指すため、地域の方との技術研修、共同作業の実施

柿採り作業、剪定講習、柿吊るし作業等



【乾燥作業】

【目標・ねらい】

- ①授産施設の仕事の確保と利用者の増
- ②村の特産品であった「ころ柿」の復活と、地域の生産組合との連携による地域資源活用による産業の振興
- ③柿を採取することによる鳥獣被害防止

事業効果

- 1 未収穫の柿を減らすことで、鳥獣被害の防止となる
- 2 授産施設の作業とすることで、施設利用者の就労の場の確保となる
- 3 干し柿づくりに取り組む生産組合との連携により、作業の相互協力ができ生産量の増加となった
- 4 作業連携のみならず、地域とのコミュニケーションが図られるため、授産施設運営への理解が得られた
- 5 授産施設の作業収入が増加した

※自己評価【 B 】

【理由】

本年度は、施設整備と地域（草尾地区）との連携を図ることができた。霜により収穫がなかったが、今後の作業収入につながるもので、更に干し柿づくりの技術の向上に努めていく。

今後の取り組み

- ・干し柿づくりは期間が限定されてしまうため、作業員の確保と、その作業員が通年就労できるような仕事の確保を行い、授産施設としての役割を果たしていく
- ・産地となるため柿の栽培も含め、良質な品物を安定的に生産していける技術の習得とリスクの分散化
- ・衛生管理、作業員の安全管理の徹底